

平成 24 年度 海外研修事業報告書

第 12 回カナダ・アメリカ派遣



BCIT リッチモンド校にて

＊WEB 上の報告書においては、生徒が特定できる写真、氏名等については配慮いたしました。

Surrey, British Columbia, Canada

研修期間：平成 24 年 7 月 23 日～8 月 1 日

協力：Regent Christian Academy International School

公益社団法人 全国工業高等学校長協会

国際化事業推進委員会

目 次

1. あいさつ	2
2. はじめに	3
3. 第 12 回高校生海外研修実施要項	4
4. 第 12 回海外研修行程表(カナダ・アメリカ)	5
5. 第 12 回海外研修(カナダ・アメリカ) 結団式	6
6. 海外研修での挨拶	7
7. 研修の概要	8
(1) 7 月 23 日(月) 結団式及び出発、現地到着、ホストファミリーとの対面	
(2) 7 月 24 日(火) 現地高校生徒との交流、一緒に工科大学 (BCIT) 見学	
(3) 7 月 25 日(水) バンクーバー散策	
(4) 7 月 26 日(木) 国境を越えシアトル見学	
(5) 7 月 27 日(金) マイクロソフト社、ボーイング社見学そして再びサレーに	
(6) 7 月 28 日(土)・(7)29 日(日) ホストファミリーと休日を過ごす	
(8) 7 月 30 日(月) 地元の公立学校見学、交流会 そして、さよならパーティ	
(9) 7 月 31 日(火) 空港へそして帰国の途に	
(10) 8 月 1 日(水) 無事帰国	
8. 生徒報告と感想	11
9. 結びに	29
10. 第 12 回高校生海外研修(カナダ・アメリカ) アンケート結果	30

1. あいさつ

国際化事業推進委員会委員長 渡邊裕治
(千葉県立京葉工業高等学校長)

全国工業高等学校長協会主催による第12回カナダ・アメリカ海外研修事業を平成24年7月23日から8月1日までの10日間実施しました。この研修は、英会話を目的としたホームステイ、外国を理解するための現地学校見学及び生徒との交流そして海外企業視察から成っています。

この方面の海外研修は昨年度に引き続き2回目となります。今年度の参加者は、生徒17名（男子11名、女子6名）引率は、木暮事務局長と私の2名でした。今年度は、アメリカでの滞在を1泊2日とし、ホームステイの日数を増やしました。

この研修で生徒達は、バンクーバー郊外でホームステイを体験しホストファミリーとの人間関係、家庭の在り方や生活様式の違いを体験しました。また、現地の高校生と市内見学、大学や専門学校、高等学校の見学をともにし、友情も芽生えました。アメリカではテレビで見ているマリナーズの球場を実際に見て、そこに携わる日本人、球場が危機であった時の貢献者、ガイド、イチロー選手のベンチ等々を身近なものとして見ることにより、素晴らしい日本人を実感したことと思います。ボーイング社では日本国内では殆ど見ることができない、旅客機の製造工場の見学も工業高校生として貴重な体験であったと感じます。フェアウェルパーティでは外国の人々に、何を紹介するかをみんなで真剣に考えました。外国の人々が、私達日本人に何を求めているかを実感したことと思います。

短い期間ではありましたがホストファミリーとの交流・理解がより深まったと同時に、カナダの高校生や教育を知ることにより、外国を知るとともに日本の国や自分自身への理解も、今までと大きく変化したものと感じられます。

この数年、我が国の国際社会での経済的地位及び役割は大きく変化しました。国内の状況も同様です。GNPは後退し、日本製品のシェアは中国や韓国製品に追いつかれつつあります。否、既に多くは追いつかれています。更にインドや東南アジアの諸外国にも脅かされています。多くの若者の関心は、国際社会よりも日本国内に向けられているように感じます。このことは、若者の海外での活躍、留学者数に顕著に現れています。そして、この状態が続けば、益々この国が危機的状況に至ると感じられます。

私達日本人も含め世界中の全ての人々は、豊かな生活を求めています。その豊かさは単に経済面だけではありません。心の豊かさ、生活の豊かさ、社会的な豊かさ等々多くの豊かさがあります。日本経済が国際競争に勝ち、より多くの外貨を国内に集める。そのことのみでこの国が豊かにならないことは周知の事実です。今のこの時、豊かさとは何か、求める方法は、その価値は、為すべきことは等々について、自分自身を含めた全ての日本人が真剣に考えるべき時であると考えます。

この海外研修に参加した生徒が、工業を学ぶ日本人の一人として、国際人となる第一歩を確立させ、将来、周囲の友人達とともに国際人としての感覚を花開かせることを心より祈っています。

最後に、この海外研修に御尽力下さった多くの人々に感謝を申し上げ、あいさつといたします。

2. はじめに

公益社団法人 全国工業高等学校長協会
事務局長 木暮 守雄

国際化推進事業は、進展する国際化に工業高校も対応するために、昭和 60 年代、産業教育 100 周年事業として設立された海外研修事業委員会が始まりです。韓国との工業教育に関わる教職員の交流、国際協力機構（JICA）への協力、国際会議の共催や参加など国際交流事業を推進し、国際化事業を充実させる中で海外研修推進事業委員会が改組され、現在の国際化事業推進委員会に引き継がれています。

生徒を海外に派遣する試みは、国際化時代の幕開けとともに、生徒の国際交流を推進する必要があるとの見地から、工業高校生にも技術交流やホームステイを通じた異国の風俗習慣を幅広く体験させ、相互理解と友好親善に努める豊かな国際感覚を育成するとして文部科学省の支援をえて、平成 8 年に第 1 回生徒・教員によるニューヨーク州への海外派遣を実施したことから始まりました。今回のような高校生海外研修は平成 13 年度から始まり、今回で 12 回を数えます。第 1 回～第 10 回は語学研修を主目的にオーストラリアで 16 日間のホームステイと現地学校での授業を実施し、成果を上げてきました。

しかしながら、参加した生徒には大変好評でしたが、参加希望者が減少傾向となってきました。そこで、第 10 回の海外研修実施を区切りとして、実施の可否も含めて検討しました。過去のアンケートから、研修実施国や研修内容、研修時期や研修日数などが課題として取り上げられました。実施については、生徒に対する教育的効果は大変高いということから引き続き実施するという事で理解が得られました、課題については、期間が長いことによる参加者負担や工業高校としての特色ある内容を充実させる事も必要ではないかという反省のもとに第 11 回から実施内容を大幅に変更して実施することにしました。実施場所を北米に変更し、研修期間を 10 日間に短縮した他、地域の理解や工業に関する見学を採り入れるなど、多様な経験を重視しました。第 12 回海外研修は第 11 回の実施結果をもとに成田での前泊を止め、現地への直行便とし、見学地の再検討など内容を一部変更して募集した結果、男子 11 名女子 6 名の計 17 名が参加しました。

海外研修に参加した生徒たちは、工業高校生として卒業後、自分を磨き、経験と実力をつけ国際社会で活躍していこうという明確な意志を持った人たちばかりです。この研修を機に、広い視野を持ち、他国の文化や習慣を理解し認めることのできる思いやりに満ちた豊かな心を兼ね備えた人材に育ち、自信を持って国際化した社会で活躍して欲しいと願っています。

全工協会ではこれからも国際化事業の推進に努め、工業高校生が国際社会において生きていく知識と感覚を養うきっかけとなるよう海外研修事業を充実・発展させていきたいと考えています。皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

3. 第12回高校生海外研修実施要項

- 1 目的 国際化時代を迎え、工業高校においては国際感覚や英会話能力を身に付ける教育が求められています。この様な社会状況に鑑み、本協会では工業教育の活性化を図る事業の一環として本研修を実施します。
- 2 期 日 平成24年7月23日（月）～8月1日（水）の10日間
- 3 研修地 カナダ（バンクーバー・サレー地区）、アメリカ合衆国（シアトル）
- 4 研修内容 英会話授業、学校内見学、企業視察、等
- 5 宿泊先 現地家庭（ホームステイ）、ホテル
- 6 経 費 348,000円（旅行費用、参加生徒20名で算出）
但し、上記経費には空港施設使用税・保安サービス料等11,000円、燃油特別付加運賃/航空保険料のうち生徒負担分20,000円を含む。
尚、付加運賃/航空保険料は変動するため、生徒負担分を超えた額は全工協会が負担する。（平成24年1月10日現在50,000円）
- 7 補助金 1) 一律補助 選考された参加者に旅行費用として100,000円を補助する。
2) その他上記補助に加えて50,000円をリスニング英語検定1級合格者、高校生ものづくりコンテスト全国大会入賞者（優賞～3位）、技術・アイデアコンテスト入賞者（最優秀賞・優秀賞）、ジュニアマイスター顕彰生徒特別表彰者（1位～3位）、高校生ロボット相撲全国大会入賞者（優賞～3位）、ジャパンマイコンカーラリー入賞者（優賞～3位）に奨学金として補助する。
- 8 応募条件 会員校の生徒（学校長推薦者とし、複数推薦の場合は推薦順位を記して下さい）
- 9 募集人員 20名
- 10 その他 1) 希望者は「海外研修参加申込書」並びに「応募理由」（A4用紙800字程度）を本協会HPよりダウンロードした用紙に記入し提出すること。
2) 応募者多数の場合は委員会にて応募校原則1名として、書類選考する。
3) 研修中の公式行事・通学時は制服を着用すること。
4) 参加者は帰国後、各自報告書（協会指定の形式）を提出すること。
- 11 応募締切 平成24年5月25日（金）
- 12 応募書類提出先・問い合わせ先

社団法人全国工業高等学校長協会 事務局長 木暮守雄
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-8-1
TEL 03-3261-1500 mem01@zenkoukyo.or.jp

4. 第12回海外研修行程表（カナダ・アメリカ）

	月日	曜日	発着地・滞在地	現地時間	交通機関	行動予定・宿泊	食事
1	7/23	月	成田空港集合 結団式 成田空港発 バンクーバー着 バンクーバー郊外 (サレー)	14:00 17:40 10:15	航空機 (AC004) 専用車	成田空港指定場所に集合 特別会議室にて諸注意・結団式 〈日付変更線〉 入国審査・手荷物受け取り 研修地へ(途中ランチをとる) オリエンテーション・ホストファミリーと対面後各家庭へ分 かれる 〈ホームステイ泊〉	機内 2回 昼 夕
2	7/24	火	バンクーバー郊外 (サレー)	午前 午後	専用車	カナダ人学生とトピックを決めて英会話 BCIT キャンパス見学(リッチモント、バーナビー) 〈ホームステイ泊〉	朝 昼 夕
3	7/25	水	バンクーバー郊外 (サレー)	終日	専用車	カナダ人学生と一緒にバンクーバー市内、スタン レーパーク、キャピラノ吊り橋などを散策 〈ホームステイ泊〉	朝 昼 夕
4	7/26	木	バンクーバー郊外発 (サレー) シアトル	終日	専用車	バンクーバーよりシアトルに向かう ダウンタウン、セーフコ・フィールド(マリナズ)、 航空博物館、見学 〈ホテル泊〉	朝 昼 夕
5	7/27	金	シアトル バンクーバー郊外着 (サレー)	終日	専用車	ボーイング社、マイクロソフト社見学後バンクーバーに 戻る 〈ホームステイ泊〉	朝 昼 夕
6 ・ 7	7/28 ・ 7/29	土 ・ 日	バンクーバー郊外 (サレー)	終日		ホストファミリーと一緒に過ごす 〈ホームステイ泊〉	朝 昼 夕
8	7/30	月	バンクーバー郊外 (サレー)	午前 午後 夕刻		現地高校訪問：学校見学とカナダの教育の 説明 現地学生と交流会 さよならパーティ 〈ホームステイ泊〉	朝 昼 夕
9	7/31	火	バンクーバー郊外発 バンクーバー発	午前 13:40	専用車 航空機 (AC003)	出発まで自由行動 待ち合わせ場所に集合、空港へ移動帰国 の途に 〈機中泊〉	朝 昼 機内
10	8/1	水	成田空港着・解散	15:25		入国手続き後解散	機内

5. 第12回海外研修（カナダ・アメリカ）・結団式

- 1 日 時 平成24年7月23日（月） 14:00～15:00
- 2 会 場 成田空港 成田空港第1ターミナル 4階有料待合室
- 3 結団式次第 司会（事務局次長） 瀧上 文雄
 - (1) 開式の言葉 国際化事業推進委員会・委員 加藤秀次（東京都立墨田工業高等学校長）
 - (2) 挨拶
 - ① 全国工業高等学校長協会・理事長 豊田 善敬（東京都立蔵前工業高等学校長）
 - ② 国際化推進委員会・委員長 渡邊 裕治（千葉県立京葉工業高等学校長）
 - (3) 引率者紹介
 - ① 国際化推進委員会・委員長 渡邊 裕治
 - ② 全国工業高等学校長協会・事務局長 木暮 守雄
 - ③ ツアー添乗員 ISS(株)国際交流センターツアーアドバイザー
 - (4) 参加生徒自己紹介 生徒17名（名簿順に紹介）
 - (5) 生徒宣誓 神奈川県立藤沢工科高等学校 総合技術科 2年生
 - (6) 第12回海外研修（カナダ・アメリカ合衆国）の全般的な諸注意
ISS（株）国際交流センター 担当者
 - (7) 閉会の言葉 国際化事業推進委員会・委員 木南郁男（神奈川県立藤沢工科高等学校長）
- 4 海外研修参加生徒

学 校 名	科	学年
秋田県立由利工業高等学校	機械	3
茨城県立水戸工業高等学校	工業化学	2
茨城県立水戸工業高等学校	建築	2
東京都立工芸高等学校	アートクラフト	2
千葉県立東総工業高等学校	建設	3
神奈川県立藤沢工科高等学校	総合技術	2
神奈川県立藤沢工科高等学校	総合技術	2
静岡県立島田工業高等学校	機械	2
愛知県立刈谷工業高等学校	電気	3
愛知県立岡崎工業高等学校	化学工業	3
関市立関商工高等学校	電子機械	1
関市立関商工高等学校	機械	3
香川県立坂出工業高等学校	機械	3
徳島県立徳島科学技術高等学校	環境土木	2
福岡県立小倉工業高等学校	電子	2
福岡県立福岡工業高等学校	機械工学	2
福岡県立福岡工業高等学校	建築	2

6. 海外研修での挨拶

1 結団式での生徒代表宣誓（神奈川県立藤沢工科高等学校 総合技術科 2 年 生徒）

全国工業高等学校長協会主催第 12 回高校生海外研修に当たり、カナダバンクーバー市でのホームステイ、カナダの方々との交流をとおして語学とコミュニケーション能力を研修し、バンクーバー市、シアトル市内の観光、会社や博物館見学では、歴史・文化を直接体験してきました。

私たち 17 名は大きな期待と一抹の不安もありますが、これからの 10 日間の研修に何事にも積極的に取り組みます。たくさんの方の事を吸収し、他国の歴史・文化の違いを理解し、自他共に尊重できる国際人として自らの成長につなげ、今より一回り大きくなって、日本に帰ってきたいと思っています。

2 「さよならパーティ」でのお世話になった人たちへのお礼の挨拶

〈渡邊団長〉

My name is Yuji Watanabe, Principal of Chiba Prefectural Keiyo Technical High School.

During eight days, we, seventeen Japanese student of technical high school enjoyed visiting, staying in Canada.

We learned the culture and the history of Canada through this homestay program.

I'd like to give you presents.

This is from the National Association of Principals of Technical Senior High School.

I really appreciate all of your kindness.

Thank you.

〈生徒挨拶〉

Thank you very much for your kindness to us.

I will not forget forever.

Thank you.

* お世話になったホストファミリー、RCA 校の A・Allan Visser 教頭及び現地高校生には、全工協会オリジナルのネクタイピン、ピンバッジをプレゼントしました。

7. 研修の概要

第 12 回海外研修は全国から 17 名の生徒が参加して平成 24 年 7 月 23 日(月)～8 月 1 日(水)の 10 日間で実施しました。以下に概要を報告します。

(1)7 月 23 日(月) 結団式及び出発、現地到着、ホストファミリーと対面

成田空港の集合は、1 名が天候の関係で予定の飛行機が欠航したため、結団式には出られなかったが、搭乗口で合流する事ができ、出発には間に合った。結団式は予定通り行い、余裕を持って搭乗することができました。



成田空港出発前集合写真(見送りの方々と一緒に)

現地時間 10 時 15 分定刻にバンクーバー空港に到着。空港は小雨で肌寒い。専用バスにてサレー市に向かい、途中、昼食を兼ねてパブリックマーケットで 2 時間ほど休憩。生徒たちは思うように伝わらない言葉に戸惑いながらも添乗員の方などの援助を受けて、楽しみながら各自昼食をとっていました。15 時頃にこれから現地高校生との交流の行動の起点となる Regent Christian Academy International School (以下 RCA 校) に到着し、現地スタッフ(中谷氏、タキオ氏)によるオリエンテーション後、ホームステイ先のファミリーが迎えに来てそれぞれのステイ先に分かれました。なお、サレー(英語:Surrey)は、カナダのブリティッシュコロンビア州南西岸に位置する都市であり、バンクーバー市圏の一部を構成しています。スカイトレインやハイ

ウェイでバンクーバーの中心部と結ばれており、住宅街が広がるベッドタウンのひとつです。



現地スタッフによるオリエンテーション(RCA 校)

(2)7 月 24 日(火) 現地高校生との交流、一緒に工科大学(BCIT)見学

朝 8 時 50 分 RCA 校に集合、現地高校生(RCA 校の生徒及び卒業生) 6 名と対面しました。現地スタッフの中谷氏がリードし、各自自己紹介やゲームをした後一緒にアニメ DVD を鑑賞するなど楽しく交流しました。お互いに親近感が持てるよう工夫した内容であり、生徒たちはすぐに打ち解けたようでした。



現地高校生との交流風景

午後は現地高校生と一緒に全員スクールバスでかけ、バンクーバーに行き、ブリティッシュコロンビア州の公立大学 British Columbia Institute of Technology (以下 BCIT) バーナビー校、リッチモンド校を見学しました。特に、リッチモンド校は航空機専門の学校として、その設備は充実しており、生徒は驚いていました。BCIT は昨年度の研修生も訪れています。

(3)7月25日(水) バンクーバー散策

スクールバスを使い、現地高校生と共に1日かけてバンクーバーを見学しました。最初に訪れたノースバンクーバーのキャピラノ吊り橋/公園では、吊り橋を渡り、公園内を散策しました。



キャピラノ吊り橋/公園にて

カナダらしい森林と溪谷は気持ちよく、生徒たちは同行した現地高校生と記念写真を撮ったり、景色を楽しんだりしていました。

バンクーバーに戻り、大変広いスタンレー公園ではステイ先で作ってもらった昼食を各自食べ、公園内を散策しました。日差しが強く直射日光に当たるとやや暑いですが、日陰は気持ちよい涼しさでした。

スタンレー公園からダウンタウンに移動し、名所となっているガス灯やメイプルリーフのいわれなどの説明を同行した現地スタッフのタキオさんから受けました。

(4)7月26日(木) 国境を越えシアトル見学

シアトルに移動するため、1時間早く、7時50分にRCA校に集合し、専用バスでシアトルに向かいました。30分ほどで国境に着き、アメリカへの入国手続きを行ったのですが、入国手続きは大変厳しく、一人一人しっかりとチェックするなど入国に約1時間を要しました。ここから、約2時間でシアトルに着き、市内のショッピングモールのフードコートで昼食をとりました。この昼食は研修の一つと位置づけられ、生徒は添乗員から10ドル札を渡され、10ドル以内に昼食を買い、必ず領収書とお釣りをもら

い、お釣りと領収書は添乗員が回収するという方法です。誰もが買い物をして店員と会話をしなければならないようにした現地スタッフの配慮でした。

マリナーズの本拠地セーフコ・フィールドでは、イチロー選手の電撃移籍の直後ということに驚きと不安もありましたが、球場案内の方の丁寧な説明とオーナー室やグラウンドにも入れていただき、日本の球場との違いもみることで、見学の価値があったと思いました。



セーフコ・フィールド見学

セーフコ・フィールドを後にし、ダウンタウンに寄道をしてから航空博物館を見学しました。航空博物館は展示物が豊富で、かつての超音速旅客機コンコルドなどがそのまま展示され、機体の内部も見学でき、大変興味深いものになっていました。



航空博物館にて

(5)7月 27日(金) マイクロソフト社、ボーイング社見学そして再びサレーに

8時30分にホテルを出発し、30分ほどでマイクロソフトビジターセンターに到着し、約1時



マイクロソフトビジターセンターにて

間半ビジターセンター内にてコンピュータ等の実体験や見学をしました。ビジターセンターを後にし、次の見学先のボーイング社に向かう途中で昼食を済ませ、12時30分にボーイング社に到着しました。昼食は昨日と同様の方法としました。生徒は少し慣れたようでした。

ボーイング社では工場見学ツアーということで、組立工場内を見学するものです。ジャンボジェット旅客機が何機も巨大な工場建物内で組み立てられている様子は圧巻でした。15時にボーイング工場を後にして、カナダへの帰路につきました。カナダへの入国はアメリカ入国とは違い、時間もかからず簡単に済みました。18時10分 RCA 校に到着し、ステイ先に分かれしました。

(6)7月 28日(土)・(7)29日(日) ホストファミリーと休日を過ごす

生徒は終日ホストファミリーと過ごしました。後で聞くとところによると、バンクーバー市内やショッピングモール、海岸、教会などに連れて行ってもらったりとそれぞれが様々な経験をしたとのことでした。

(8)7月 30日(月) 地元の公立学校見学、交流会そして、さよならパーティ

午前中、近くのジョンソン・ハイツ・セカンダリースクールという公立学校の見学を行った。

夏休みの関係で授業等は見られなかったが、施設や設備を教頭先生に細かく案内・説明いただいた。広大な敷地、よく整備された芝生のグラウンドなど、生徒たちは自分の学校と比べてどう思っただろうか。その後、RCA 校に戻り、現地高校生と交流会をもった。茶道、独楽回し、祭笛演奏、現地スタッフの中谷氏によるビンゴゲームなど楽しく過ごした。



交流会風景(茶道)

17時頃にはホストファミリーも参加し、「さよならパーティ」が始まりました。練習ではうまくいかなかった阿波踊りも参加者全員で踊るなど盛り上がりしました。18時頃にさよならパーティを終了し、ホストファミリーと共に各ステイ先に帰って行きました。

(9)7月 31日(火) 空港へそして帰国の途に

8時50分に集合、ホストファミリーと別れを惜しみつつ、専用バスで空港へ向かいました。13時40分のエアカナダに予定通り搭乗し、帰国の途につきました。

(10)8月 1日(水) 無事帰国

予定通り 15時15分に成田空港に到着。諸注意後解散し各家路につきました。

8. 生徒報告と感想

海外研修に参加して

秋田県立由利工業高等学校

3年 機械科・生徒

1 市内観光（バンクーバー・シアトル）

バンクーバーはとても自然豊かな都市でした。僕の住んでいる秋田も自然豊かですが、バンクーバーは自然の豊かさに加え都会で、すごく広くて住みやすい町でした。言葉では表せないくらい迫力のある町だったので、いろんな人に体験してほしいと思います。



バンクーバーのビル街を望む

アメリカのシアトルもバンクーバーに負けないくらいすごかったです。シアトルは2日間の研修期間でしたがバンクーバーにも負けないくらい近代的な都市でした。でもアメリカ独特の町の雰囲気もあり、バンクーバーとは違う雰囲気を味わってきました。



シアトルのセーフコ・フィールドのバックネット前から

雰囲気は、写真や文字、言葉では表せないので本当にいろんな人に味わってもらいたいと思います。

日本では決して体験できないことなど盛りたくさんなので機会があれば行って体験してほしいと思います。

2 ホームステイ

今回カナダに滞在している期間はホームステイでした。カナダに来る前は多少不安な部分もありました。でも僕は1度経験していることもあって、そこまで苦にならなかったです。

初めてホームステイする人もほんとに楽しくホストファミリーの方たちと触れ合うことができると思います。



現地で研修をサポートしてくれた学生たちと

日本とは言葉も違えば、食文化も違う、価値観や人生観も違ってきます。

その中でホームステイをすることは最初大変かもしれませんが、すぐ慣れます。

僕は英語を全く話すことができないのですが、学校で学んでいる程難しくはありません。学校で学んでいる英語は大げさと言っていいくらい難しいと思いました。それくらい外国の人と話すのは楽しくて飽きません。ゼスチャーや単語でも十分会話ができます。

3 感想

今回のような海外研修という機会を通して日本の狭さも実感し、海外に興味を持つことができました。だから来年行く人に思いきり楽しんでほしいです。積極的にコミュニケーションを取

って自分を成長させてほしいと思います。海外では積極的に行ったもの勝ちです。新たな仲間ができ、本当にこういう経験をして良かったと思っています。

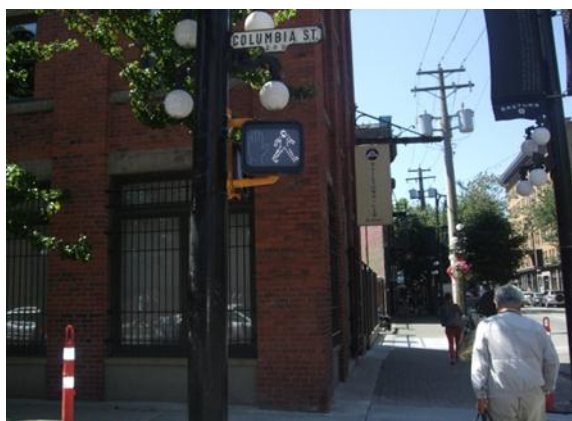
バンクーバー、シアトルの様々なところを見て

茨城県立水戸工業高等学校
工業化学科 生徒

1 バンクーバーで

私は海外へ今まで行ったことがありませんでした。なので、バンクーバーで見た1つ1つのものに驚くことが多かったです。

例えば道路。日本とはハンドルも車線も反対なのは知っていましたが、実際に見てみると違和感が強かったです。歩行者用の信号も日本とは違って、私にはとても面白く見えました。



バンクーバー市内にて

観光した先としては、キャピラノ吊橋はとても揺れくらうしてしまいました。かなりの高さがあるこの吊橋はどのように作られたのか不思議でした。ギヤスタウンはその名の通りに賑やかな街でした。どこに向かってても沢山のひととすれ違って、こんなに様々な人が来るのは凄いなと思いました。

2 ホストファミリーと

ホストファミリーは、4歳と6歳の女の子とその子達の両親の4人家族でした。会話は何となく分かるが、返事が上手く返せないという感じでした。2人の女の子は恥ずかしがり屋でしたが、段々

慣れてくると私に沢山話しかけてくれるようになり嬉しかったです。ただ、4歳と6歳の会話に16歳がついていけないところがあったので、それを考えると悲しくなりました。ホストファミリーと出かけた時に私の左手の取り合いをしていた時はとても嬉しかったです。最後、お別れするときはとても悲しくて寂しかったです。



ホストファミリー宅にて

3 シアトルで

マイクロソフト社は思っていたよりも、内装がシンプルでした。中には、様々な機械があり、ゲームができるようになっていました。

航空博物館の屋内では飛行機に関する歴史を見ることができ、屋外では実際に飛行機の中に入ることでもでき、様々な飛行機の内装を見比べることができました。



シアトル航空博物館にて

ボーイング社では飛行機があちらこちらにあり、流石だなと思いました。私は飛行機に関してそこまで詳しくないのでよく分からないことも多かったですが、飛行機1つ1つが使われる先の気候などの

ことを考えて作られているというのが凄く面白いなと思いました。

4 感想

ホストファミリーと出かけた日、スカイトレインの中で日本人に会いました。その人は私より9つ上の人で、3ヶ月カナダにホームステイすると言っていました。私は最初にも書いた様に海外へ行ったのは初めてでした。最初は言葉も大して通じないところなので行くのがちょっとだけ怖かったのですが、行ってみるとホストファミリーは優しくったり、一緒に参加していた人たちもいい人ばかりだったり本当に行って良かったと思いました。またいつかスカイトレインの中で出会った人のように、今度はもっと長い間海外に出かけてみたいなと思いました。

海外研修に参加して

茨城県立水戸工業高等学校
建築科 生徒

1. ホームステイ

私を受け入れてくれたホストマザーは、とても優しい方でした。また、お部屋も青を基調とした綺麗なお部屋でトイレやお風呂までついていてとても快適な家でした。



お部屋の様子

私の他にも韓国からきた留学生が二人いました。朝食、夕食はいつも4人で食べていました。ホストマザーの作る夕食は、健康的でバランスのとれた食事とても美味しかったです。

2. カナダ

バンクーバーの散策では、とても楽しくカナダ

の自然に触れ合うことが出来ました。また、カナダの街の様子も見ることが出来ました。



キャピラノ吊り橋入口の前で

キャピラノ吊り橋は、今までに見たことのない長さで、野生のリスがいたりタヌキがいたりとびっくりしました。自然ってこんなに気持ちが良いものだったんだと改めて感じました。

3. アメリカ

アメリカは、オシャレなお店がたくさん並んでいて綺麗な街でした。見学したボーイング社工場や航空博物館やマイクロソフト社では、興味深いものを見て良い経験をしたと思います。

Mariners の球場を自分の目で見る事が出来て、とても嬉しく感動しました。

4. 感想

初めてのカナダとアメリカは、最高の思い出を作ることが出来ました。ホストマザーに連れて行ってもらったショッピングモールでのお買い物はとても楽しかったです。ホストマザーとの思い出も海外研修を通じて知り合えた友達との思い出も私にとって忘れられないものとなりました。



仲良くなった友達

ホストマザーやカナダ人学生と会話していくことで自分の英会話の実力を知ることができ、何もわからない環境にいても、言葉が完璧に話せなくても、伝えようとすれば相手もそれを理解しようとして頑張ってくれることが分かりました。

この海外研修に参加してとても良かったです。また、このような機会があれば参加したいと思います。

海外研修(カナダ・アメリカ)に参加して

東京都立工芸高等学校

アートクラフト科 2 年 生徒

1 ホームステイ、ホストファミリー

カナダに着いた時に急病で倒れたことを聞いて当初の予定の人と変わってしまい、とても不安だったけどとても面白くて優しい人で安心した。家も外国らしい家で内装なども見れて良かった。とても気を使ってくれる方だったしもう一人いたホームステイ中の子も良い子だった。

夕飯に色々な国の料理を作ってくれた。ご飯を作るのがとても上手で、一度巻き寿司も作ってくれた。日本で見る生魚が入った巻き寿司じゃなくてアボカドなどが入っていたけどとても美味しかった。その日の夕飯前にテーブルに英語で書かれた日本食のレシピの載った本が置かれていたのを見たから更に美味しく感じた。

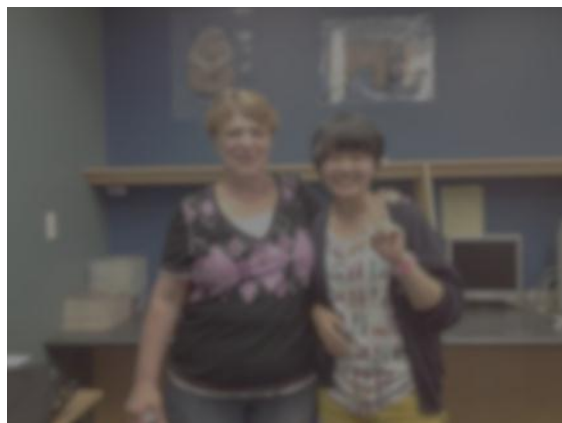
夕飯といえど毎日夕飯の時間に私が日本語を教えるコーナーのようなものがあつた。向こうの国独特の言い回しなどがあつてとても苦戦したけど一生懸命発音したりしてくれているから私も教えるのが楽しかった。

その中でも一番の思い出はキツラノに買い物に連れて行ってくれたことだった。私がガイドブックを見て行ってみたかった所を言うと快く連れて行ってくれると言ってくれてとてもうれしかった。軽くいくと言ってくれたから意外と近いのかと思ったら電車とバスを使って片道で一時間はかかるようなところだった。わざわざこんなに遠いところに快く連れて行ってくれた事に優

しいと思ったと同時に申し訳なく感じた。

見ている間はずっと待っていてくれていた事と今思うとわざわざ電車とバスを使って行った事も私の為だったのかなと思うと申し訳なくなると同時に私の事をとても思ってくれているから嬉しくなる。

最後の夕飯でとても大きいカナダの旗を貰った。この旗に寄せ書きをしてもらえと言われたからみんなに寄せ書きしてもらった。私の一番のお土産になった。



ホストファミリーと

私は貰ってばかりだったし優しくしてくれたお礼に似顔絵メッセージを書いて部屋を出た。今、それが保管されてるかも分からないけど最後に何かしようと思えるくらい優しいホストファミリーだった。

2 バンクーバー散策

有名な場所に行くだけでなく専門学校の見学があつたのが良かった。

BCIT キャンパス内は飛行機のエンジンや部品、本物の飛行機で溢れていて日本の専門学校との違いを見れた。日本には学校に本物の飛行機を置くスペースがないし学んでいる技術が半端な気持ちではできないものばかりだと思った。あと学校の内装も全く日本と違っていて興味深かった。

パブリックマーケットの中にはたくさんのお店があり、とてもカラフルだった。マーケットというから食べ物のみかと思いきやお皿や服も売っていて意外だった。お皿の柄が草間彌生みたいで可愛かった。



パブリックマーケット内

買ったスコーンなどを外で食べているとスズメのような鳥が寄ってきて可愛かったから少し撒いたらたくさん来たとし手に乗られて大変だった。時間があまりなくて急いで見たからもう少し散策する時間が欲しかった。キャピラノつり橋は晴れていたしカナダの夏の涼しい丁度良い気候の中で行った為とても気持ち良かった。橋の周りの木々も大きくて涼しく、川なども流れていてとても良かった。しかしあまり野生動物を見なかった。見たのは野生のリス一匹だけだった。見てないだけかもしれないけれどももう少し動物が見れると思っていたから少し拍子抜けだった。

ダウンタウンはお店のディスプレイがとても個性的でかわいかった。人も多くて街の雰囲気は今まで行っていた場所とはガラリと変わってとても良かった。

しかし自由時間が短く店が多い為迷っている間に時間がなくなるし、お土産屋さんは同じ物を売っているところばかりであまり楽しめなかったが、近くは治安が悪いと言っていたしあれだけ人がいたらやはり危ない人はいるだろうからしょうがないのかなとも思った。

3 会社見学(ボーイング社工場、マイクロソフト、博物館)

ボーイング社工場は説明がついていたけど全く分からず、ただ人が動いているのを見ていた。

上から眺めているとやはり豆粒くらいの色々な人が動いて飛行機が出来ていて、なんだか不思議だった。本当に今作られているという現実味がなかった。工場内は意外といろいろな物があった。カフェや軽食が楽しめる場所、会議スペース、作業場など意外と快適そうだった。

マイクロソフトは個人的には一番がっかりした場所かもしれない。中で説明を受けながら開発の様子を見せてくれるのかと思いきや一階の遊び場のような展示スペースのみでがっかりだった。コーナーも小さく時間があり余った。でも技術の発達の様子は見れた。大きいタッチパネルや身体全体を使って楽しむゲームなど少なくとも私が生まれた時代などにはなかった物が普及している事をひしひしと感じた。



博物館内展示

博物館では昔の飛行機に搭乗出来たのが興奮した。昔の飛行機のデザインなんかが可愛く、写真を撮ってばかりだった。自由時間も丁度よく、世界大戦で使用された飛行機、メイン展示、グッズ全て回る事が出来た。世界大戦中の飛行機も現代とのデザインの違いがよく分かる可愛い物が多かった。

4 市内観光(カナダ・アメリカ)

カナダは街の中にも森林が多く、自然が豊かだった。

お土産屋さんが多くて、内容が一緒なのがつまらないし、物価が高かったけど、売っている服などは本当に可愛かった。

アメリカはよく行くのでどのくらいの値段か

がすぐ計算できて楽だった。スターバックスの本店は意外と小さくて人が多かった。開店当初のマークが使用されていた。



スターバックス本店付近の様子

その前のフリーマーケットのような市場もいろいろな物が中で売られていて見ごたえがあった。ほとんど服や金属アクセサリで高かったが見るだけでも楽しかった。

セーフコ・フィールドはとても晴れていてキレイだった。イチローが去ったばかりで少し残念だったが見学自体は楽しかった。色々なところから球場を見渡す事が出来た。普通にチケット買って観戦しに行っても入れないところ、見れないところばかりだったからとても新鮮だった。

5 感想、その他

行く寸前は準備が忙しく、参加するんじゃないかと！とか言っていたけれども、やはり行ってみるととても楽しかった。参加して良かったと思う。英語はそんなにたくさんしゃべれるわけじゃないけど色々なところに行ってホームステイするというのはとても貴重な経験だし、日本にいただけでは触れられない文化、人柄、国の雰囲気、物、学校、空気、自然、さまざまな物に触れて、私の中に長く残る大切な思い出になったと思う。また、その経験から考え方が変わったり、良い方向にプラスになっていると思う。

この海外研修に参加して良かったのは外国の文化に触れるだけでなく、参加している人たちとの交流も思い出深い物になったと思う。日本は他の国から見て小さいと言えどやはり本州から九

州が遠いなど距離はあり、ここに参加していたからこそ住んでいる地方の全く違う人たちに出会って会話出来た事もこの研修の魅力だと思う。住んでいる地域がバラバラすぎて次にいつ会うかなんて全く分からない人もいるけど、やはりそんな人たちと会う楽しみも増えるしそれをきっかけに日本の色々なところに行くのも良いと思う。

カナダ研修の報告・感想

千葉県立東総工業高等学校

建設科3年 生徒

カナダという土地は日本と違い、空気が乾燥していてとても過ごしやすい場所でした。また緑が多く、3日目に訪れたキャピラノ吊り橋では野生のリスを観察することもできました。

ホストファミリーの方々はとても明るく優しい方々でした。家族は4人で7歳と5歳の男の子がいました。2人共とても元気で一緒にサッカーをしたり折り紙を折ったりして遊びました。ホストマザーとは一緒に買い物に出かけたり夕食を作ったりしました。また休日には皆でブルーベリーを摘みに行ったり海に行ったりととても楽しいステイとなりました。



シリー州にあるブルーベリー畑

2日目に訪れたBCITのキャンパス見学では主に機械工学についての説明や見学をさせていただきました。特にリッチモンドでは沢山の飛行機や戦闘機、エンジンを拝見させていただき勉強になりました。

私は機械工学の専攻ではないのですが今回

BCIT の方々の説明を受け、機械工学にも興味が湧きました。また実際に実習を行っているところを拝見出来、とても勉強になりました。



BCIT リッチモンド校展示・格納室

アメリカ・シアトルでの滞在ではボーイング社工場見学と航空博物館がとても印象に残っています。特にボーイング社では実際の作業風景を見学出来、とても感動しました。航空博物館では飛行機や戦闘機などがたくさん展示されていてさらに機械工学への興味が深まりました。

今回の海外研修を通して自分の知識や英語力の無さを痛感しました。今後も英語や色々な工学の知識を身につけ再びアメリカ・カナダへ訪れたいと思います。



BRITISH AIRWAYS(航空博物館にて)

カナダ高校生海外研修に参加して

神奈川県立藤沢工科高等学校
総合技術科 2年 生徒

1 ホームステイ

ホームステイ先での英会話はとても大変でした。ですが日が経つにつれて、相手が何を言いたいのかが分かるようになってきました。ホストマザーには英語を教えてもらいました。かわりに自分は日本語を教えました。



ホストファミリーと

休日にはみんなでピクニックに出かけました。ピクニックではさらにホストファミリーとの仲が深まりました。

ピクニックの後には、ダウンタウンに出かけて買い物をしました。そこで、ホストマザーが自分達にTシャツを買ってくれました。

そのTシャツは今でも大切に使っています。

2 バンクーバー散策

バディーとのバンクーバー散策で始めに行ったキャピラノ橋では怖かったけど、とても綺麗な景色を見ることができました。橋はとても揺れるうえに人がたくさんいたので、あたらないようするのが大変でした。ここでは写真を撮るのに夢中になっていたため全然会話ができなかったのが残念でした。



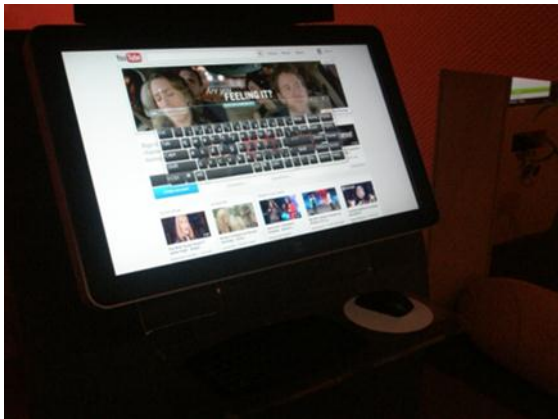
スタンレーパークにて

その後に行ったスタンレーパークではバディーと遊んだ後に公園内を散策しました。そこで現地の人と写真を撮ることができました。

3 シアトル見学

シアトル見学1日目に行ったセーフコ・フィールドでは、イチローがよく座っていたベンチに座ることができて良かったです。さらに記者会見場やVIP席なども見る事が出来たのがうれしかったです。1日目はホテルのチェックインでトラブルが起きたくらいでとても良い1日を過ごせました。

2日目に行ったマイクロソフト社では最新の技術を見ることができました。さらに触ることができたので良かったです。



マイクロソフト社にて

4 感想

はじめの3日間くらいは多少消極的になってしまいましたがそのあとはなるべく積極的に研修に取り組みました。むこうの料理は量があるので小食の自分は食べきるのが大変でした。この研修での10日間は長いようで短かったです。とても良い経験になったので参加して良かったです。今後はこの研修で学んだ事を生かしていきたいです。

海外研修に行って

神奈川県立藤沢工科高等学校
総合技術科2年 生徒

1 ホームステイ

私の今回の一番の不安は、なによりもホームス

テイの事でした。ホストファミリーの方々と



ホストファミリーのリリベットさん

会ってからの1日目と2日目はすごく緊張していましたが、ホストファミリーの方の方からどんどん話しかけて下さってとても安心しました。土日にはショッピングや、花火大会にも連れて行っていただきました。なので最終的には、ホームステイの時間をとても楽しくすごせたと思います。

2 カナダ

まず世界一長いつり橋と言われているキャピラノ・サスペンション・ブリッジは、一歩歩くたびに上下左右に揺れて歩きにくかったのですが、景色がきれいで癒されました。

スタンレーパークで見たトーテムポールは、思っていたより大きく色使いも鮮やかでした。トーテムポールはそれぞれの家の守り神だそうです。

市街観光での町の印象はレンガ作りの建物が多く日本に比べると、少しレトロな感じでした。世界で初の蒸気で動く時計もありました。その時計は15分に一度鳴るらしいのですが、私たちが行った時は調子が悪く時間通り鳴りませんでしたが、移動中に音が聴けたのでうれしかったです。2010年のバンクーバオリンピックの際に実際に使用された聖火台も見ることができましたが、近くで見ることができず残念でした。

バンクーバーの全体的な印象としては、町も自然もきれいで夏は気候もよくとても住みやすいと思いました。

3 アメリカ

最初に行ったセーフコフィールドでは、私自身

初めて球場を見たこともありその大きさと迫力に驚きました。そしてセーフコフィールドをホームグラウンドとするマリナーズに所属していたイチロー選手は私たちがセーフコフィールドに行く3日前に移籍してしまい残念でした。

ですがイチロー選手が座っていたベンチに座らせていただいたりしていい思い出になりました。

その後に行ったスターバックスの本店では、本店でしか売ってないグッズなどもありました。私はカフェ・オレを飲んだのですがとてもおいしかったです。

ボーイング社の見学は飛行機の作り方がとてもよく分かりました。工場も大きく凄いと思ったのですが、太平洋戦争で日本を空襲した B-29 がこの会社で作られたと思うと、複雑な気持ちになりました。

マイクロソフト社では、コンピュータの歴史から最新の PC、携帯電話、ゲーム機にも触れることができました。

最後に航空博物館です。航空博物館では、実際に使用された宇宙関係のものなどがありました。中でもケネディ大統領などが使用したエアフォース・ワンや、超音速旅客機コンコルドに搭乗することができました。両方共に普段なかなか目にすることができないので一番印象に残っています。



超音速旅客機コンコルドの写真

4 カナダの学校

専門学校の BCIT では医療から土木、電子、自

動車、航空関係までコースが揃っていて設備も充実していました。日本でもこのような専門学校はありますが、こんなに沢山ものコースが揃っている専門学校はないと思うので驚きました。中学校も一緒に土木、自動車、アート、調理、音楽などのコースに分かれていました。中学校からこのようなコース分かれて学習できて懂れてしまいました。この様な事は日本ではないので是非取り入れてほしいです。

6 感想

今回の海外研修に参加して一番思った事は、ホームステイや現地の人などとの会話や行動を通して自分の自信につながったと思っています。更に普段日本では見られないような物や場所を見られたことにより自分の世界が広がりました。なので、今回海外に行って得たモノは、これからの将来に役立て無駄にならないようにしたいです。



バンクーバーのビーチでの夕日

カナダ研修

静岡県立島田工業高等学校

機械科2年 生徒

1 ホストファミリーと過ごした日々

最初は緊張のせいかホームステイ先の方とはうまくコミュニケーションがとれずにいました。ですが自分から積極的に話したり、と少しずつ会話のキャッチボールが出来るようになりました。また、その家には自分のほかにも二人の留学生がいて、その二人のピアとトニーとホストファザーの子どものカビールとジュネとみんなでゲーム

をしたりサッカーをしたりして遊びました。言葉と動きでコミュニケーションが取れました。



グローブをつけてファイティングポーズのジュネ!

ホストファザーに招待されてその親戚の誕生日に行くこともありました。ホストファミリーはインディア系だったので料理がとても辛く、刺激的でした。最後の夜はみんなと笑っておしゃべりができ英語が自然と聞き取れるようになっていました。仲良く、親切にしてくれたみんなと別れるのがつらかったです。

2 市内観光

町も整っていて綺麗で、すごく緑がたくさんありました。人の生活と自然が調和していると感じました。日本と違って気温が低かったので、寒いと感じることが多かったのですが、とてもいい雰囲気町で町の風情に憧れを抱きました。



有名なレストラン

3 会社見学

マイクロソフト社では過去に発売された見たこともないようなすこぶる大きいウォークマンや最先端の技術が詰まっているタブレットやゲ

ームなどを体験できました。

ボーイングでは目の前で製造の経過が見ることができあまりの迫力に驚きました。

4 バンクーバー散策

最初に行ったショッピングではホットドッグを注文することができ、自分の英語が他の人に伝わった時はうれしかったです。また、カナダの現地高校生とスタンレーパークやキャピラノ吊り橋などを一緒に歩いてすごしました観光地は自然であふれていました。トーテムポールなどのユーモアあふれる文化や市場などを見ることができすばらしく新鮮な景色を見ることができ、日本にはない空間の美しさが素敵でした。



スタンレーパークで

5 感想

このカナダ研修で過ごした時間はとても充実した時間でした。自分の国際化に伴う自分の能力を身につけることができたと思います。この研修のことを忘れずに日本の工業の発展に携わることができるよう進出していきたいと思います。

My Memories

愛知県立刈谷工業高等学校

電気科3年 生徒

1 HOMESTAY

ホームステイで一番気になっていた食事は、未知の味がするものも有りましたが、ほとんど美味しく食べることが出来ました。特に夕食に出されたチキンカレーはすごく辛かったけど、とても美味でした。



ホストファミリーと記念写真

土曜日は朝 10 時くらいから約 3 時間インディアン式の法事 (PRAY) に参加しました。女性は色鮮やかな民族衣装で男性は私服でした。薬草や花を燃やし祈りを捧げた後は食事でした。流れは日本と同じと言う事が分かりました。

2 バンクーバー市内観光

バンクーバーでは、キャピラノ吊り橋とスタンレーパークに行きました。どちらも自然が豊かで涼しく空気がとても澄んでいました。



スタンレーパークにて

3 セーフコフィールド

26 日はシアトルマリナーズのホームグラウンド、セーフコフィールドに行きました。前日にイチロー選手がヤンキースに移籍と聞いて、忘れられない出来事になりました。

フィールドは天然芝で綺麗に整備されていて、さすが大リーグだと思いました。

4 会社見学

今回の海外研修では、3 つの有名な会社を見学しました。その中で一番心に残っている会社はボーイング社です。

工場までの移動をバスで行い、規模の大きさに圧倒されました。

工場の中には、造りかけの飛行機が何機もあり、製造工程を実際に見て学ぶことができました。製造現場はとても広く清潔な空間でものづくりが行われていました。

5 感想

カナダの人は、とても気さくで、フレンドリーなところが魅力的でした。写真を撮っていると「撮ろうか」と来てくれたり、一緒に写真に写ってくれたりしました。私も将来こういった陽気な人になりたいです。

一緒に海外研修をした仲間や添乗員の方々に恵まれ、1 日がとても早く感じました。そして充実した 10 日間を過ごすことが出来ました。



セーフコフィールドにて

海外研修で学んだこと

愛知県立岡崎工業高等学校

化学工業科 3 年 生徒

1 ホストファミリー

ホストファミリーはとても親切な方々で、僕の拙い英語でもしっかりと耳を傾けてくれました。料理もすごくおいしくて充実した日々を送ることができました。土日にはショッピングやビーチに連れて行ってくれました。そこでカナダのことを色々教えてくれました。

ホストファミリーには本当によくしてもらい、たくさんの思い出をもらいました。感謝してもし尽くせません。



ホストファミリーとビーチにて

2 バンクーバー散策

バンクーバー散策は現地の学生と一緒に行きました。キャピラノ吊り橋は揺れがすごくて油断したら本当に落ちてしまいそうでした。ダウンタウンはかなりの都会で人の多さに圧倒されました。店の種類も日本とはまるで違って、何もかもが新鮮でした。



キャピラノ吊り橋

2 シアトル観光

シアトル観光で一番印象に残っているのは、セーフコフィールドです。見学ツアーでまさかグラ



セーフコフィールド

ウンドやベンチにまで入れるとは思っていませんでしたので嬉しかったです。ただイチロー選手が見

学した二日前に移籍してしまったのが少し残念でした。また、ボーイング社の工場見学は工場の大きさに驚きました。今までに入った建物の中で一番大きいくらいでした。

3 感想

ホストファミリーを含め、現地の方々はどんなことにも笑顔で答えてくれてとても話しやすかったです。研修中は毎日が新しいことの連続であつという間に過ぎて行きました。この研修で体験したことは今後役立つと思います。そして、近い将来もっと英語を勉強してカナダに行きたいと思います。

Best memories

関市立関商工高等学校
電子機械科1年 生徒

1 ホームステイ

カナダへ到着してホストマザーと対面し、初めは自分の英語力がどこまで通用するかどうかとても不安でした。しかし、実際はとてもフレンドリーな家族と一緒にトランポリンをしたり、ショッピングへ出かけたりととても充実した日々を過ごすことができました。



ホストファミリーと一緒に

英語が伝わらなかったりしても写真を見せたり、より詳しく説明することで理解してもらうことができました。あのときの喜びは今でも忘れられません。こうした楽しい時間もあったという間に過ぎ、別れをするのが切なくなりました。本当に家族が増えたみたいで楽しかったです。今度は自分が成長して、大人になったらまたホストファミ

リーに会いにいこうと思います。

2 In Canada

カナダでは現地の留学生の方々と一緒にBCITキャンパスやキャピラノ吊り橋、スタンレーパークなどを観光しました。

とても広大な敷地を有しているカナダはすごく自然豊かな国で、過ごしやすい国でした。空気もきれいで様々な人種の方が生活している中、親切な人ばかりで良い思い出ができて良かったです。



バンクーバー市内

3 In America

アメリカではセーフコフィールドやボーイング社、マイクロソフト社の見学など普段は行けない施設を見学できました。高層ビルやマンションが多く並んでいて、建物などの造りも日本とは違った造りがしてあって印象に残っています。

4、カナダ・アメリカ研修を通して

今回、自分はプロジェクトの中で唯一1年生として参加させて頂きました。しかし、皆良い先輩や



日本人留学生と一緒に

先生方ばかりでとても楽しく過ごすことができ

ました。本当に感謝しています。昔から海外で働きたいと思っていたのですが、その思いがより一層強くなりました。これからは今までの経験を生かして自分の夢を実現できるように世界へ羽ばたいていきたいです。

海外研修

関市立関商工高等学校

機械科3年 生徒

1、カナダ

初めての海外、初めてのホームステイと初めてばかりのことで初めはとても驚きの連続でした。バンクーバーという街は自然が多く、少し郊外に出ると大きな畑があり、何もかも大きなものばかりでした。

ホストファミリーの方々も親切な人ばかりですぐに打ち解けることができ、楽しく語り合うことができました。バンクーバーの各地観光では自然に囲まれたところが多く、キャピラノ・サスペンション・ブリッジでは周りが森で囲まれ、



キャピラノ吊り橋

スタンレーパークではきれいな海がありました。



スタンレーパークのトーテンポール

2、アメリカ

アメリカでは、スターバックス1号店や、セーフコフィールドなどに行きました。球場自体初めて中を見たし、また普段から見る事が出来ないところまではいることが出来てとても面白かったです。ボーイング社ではボーイングの歴史、当時大統領などを乗せて飛んでいた飛行機の実物など歴史的に凄いものばかりおいてあり、とても感動しました。

3、感想

この十日間は、珍しいことばかりで一日一日はとても長く感じられました。しかし十日間はとても短く、あっという間の十日間でした。

カナダとアメリカ、隣り合っていて一見似たような国だと思いましたが、実際にそれぞれの国を訪れてみると国では少しの違いがありました。また日本とは非常に違い、悪いところもあればいいところもありました。



ホストファミリーと行った海辺

言葉の違いもはじめは戸惑いでしたが、過ごすごとにだんだん理解することが出来ました。言葉の違いもお互いに理解し合おうと思えば簡単なことなのだと思います。

今回の研修は学んだことがとても多く、これからの将来に役立てていきたいと思いました。この研修に参加して本当に良かったと思いました。

海外研修

香川県立坂出工業高等学校

機械科3年 生徒

1 ホームステイ、ホストファミリー

初めての海外で何もわからない状態で、とても緊張していました。しかし、ホストファミリーはとても気さくに話しかけてくれて、緊張が解れたのを覚えています。29日には、キリスト教の日曜礼拝に行きとても貴重な体験をしました。教会では、歌を歌いお祈りをしました。そして、各家庭が料理を1品ずつ持ち寄ってバイキングをしました。

2 バンクーバー散策

バンクーバーの散策では、キャピラノ吊り橋に行きました。吊り橋は、想像以上に迫力があり、とても自然が豊かなところで野生のリスを見た時は感動しました。

スタンレーパークではバンクーバー市内を一望でき、そこで食べたホストマザーが作ってくれ



スタンレーパークにて

たサンドウィッチはとてもおいしかったです。ダウントウンは、とてもおしゃれな街並みでお土産を買ったりして、街の雰囲気を楽しみました。

3 会社見学

ボーイング社では、飛行機が1から組み立てられているところを実際に見ることができ、貴重な体験ができたと思います。工場はとても広く工程ごとに場所が分かれていました。飛行機を組み立てるときに使うボルトは、締める力や締める回数が全て決められていることを知って驚きました。

マイクロソフト社では、最新の製品に触れることができて楽しかったです。

4 市内観光

アメリカのシアトルではマリナーズの本拠地

である、セーフコフィールドを見学しました。残念ながら、イチロー選手が移籍した後だったので、イチロー選手の大きなポスターはありませんでしたが、イチロー選手がいつも座っていたベンチのところに座りました。また、普段では入れないところも見学することができ、とても興奮しました。



セーフコフィールドにて

ダウンタウンでは、スターバックスコーヒーの1号店に行き本場のコーヒーを味わいました。

5 感想

この海外派遣研修で、英語やコミュニケーション能力の必要性を強く感じました。

文化の違いや言葉の違いなど、肌で感じたことは今後の人生において、とても大きな財産になったと思います。また、研修と一緒に参加した全国の工業高校生と親交を深められたことも、良い経験になりました。この研修でできたすばらしい経験を、今後の学校生活や、就職したときに生かしていきたいと思います。



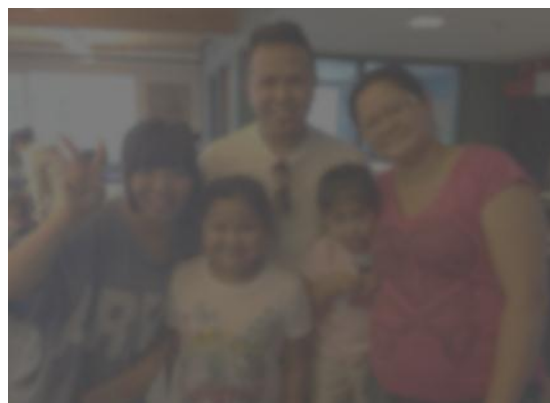
ホストマザーと一緒に

Thank you!

徳島県立徳島科学技術高等学校
環境土木科2年 生徒

1 ホームステイ

初日、長時間のフライトによる疲労でへとへとな私を、笑顔で迎えてくれたのがホストファミリーだった。ユーモア溢れるホストファザー、料理上手なホストマザー、そして毎日元気いっぱいの2人の子どもたちに囲まれた毎日は、とても楽しかった。



ホストファミリーと

特に、兄弟姉妹のいない私にとって、同じ家に子どもがいるのは新鮮に感じた。

2 バンクーバー散策

キャピラノ吊り橋は、思った以上に揺れが激しく歩くのがやっとだった。しかし、カナダの美しい自然を間近で見ることができた。



カナダの自然

スタンレーパークは、自然溢れるカナダの大きな公園。友人たちとランチをとるなどして過ごした。

カナダには、日本にはないような美しい自然が

たくさんあり、素晴らしい国だなあと考えた。

3 会社・博物館見学

ボーイング社の工場見学では、想像していたものより広い施設に驚いた。なかなか入れない施設らしく、貴重な体験になったと思う。

航空博物館では、たくさんの飛行機が展示されていた。外から見るだけでなく、機内に入れる飛行機もあった。

4 シアトル散策

セーフコフィールドでは、グラウンドだけでなく、色々な部屋を見て回ることができたので良かった。



セーフコフィールド

ダウンタウンでは、スターバックス1号店に行くことができた。平日なのに行列ができる程人気があった。

5 研修を終えて

心配だった英会話が、思っていたより理解できたので嬉しかった。しかし、言っている内容が理解できても返答できないことがあったので、新たな課題もできた。

あっという間だった10日間。充実した時間を過ごせたのは、共に過ごした17人の生徒、海外研修に携わっていただいた全ての方、そして両親のおかげだと思う。本当にありがとうございました。

海外研修に参加して

福岡県立小倉工業高等学校
電子科2年 生徒

1 ホームステイ

ホストファミリーは、とても愉快で、また親切な方たちでした。最初はなかなか相手の言葉

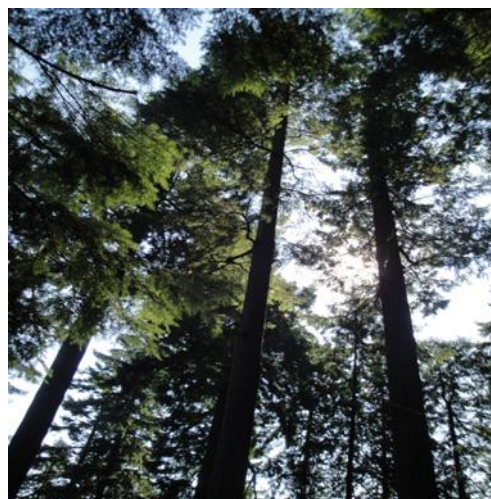
を理解することができず苦労しましたが、日を重ねるごとに、次第に上手くコミュニケーションを取れるようになりました。



ホストファミリーたちと

2 キャピラノ吊橋

様々な場所に行きましたが、一番印象に残っているのはキャピラノ吊橋です。特にその中でも、自分は吊橋よりも、その周りに広がる自然がとても綺麗で目に焼き付いています。



キャピラノ吊り橋/公園にて

3 会社見学

マイクロソフト社は、スケジュールを見たときから早く見学してみたいと、期待していましたが予想よりも面白味がなくて残念でした。ボーイング社の工場では、飛行機の製造工程を近くで見ることができ、とても感動しました。今まで飛行機にあまり興味はありませんでしたが、今回の見学

を通して飛行機に対する興味が湧きました。

4 セーフコフィールド

この研修に参加してすぐのこと、マリナーズのイチロー選手がヤンキースに移籍していたそうです。自分はそれを知らずセーフコ・フィールドの見学に行き、そこで初めてイチロー選手の移籍を知りました。セーフコ・フィールドでは1時間程のツアーという形で、球場の様々な場所を見学しました。



セーフコフィールド

5 感想

今回の海外研修で、様々な場所を見学し、自分の専門ではない分野にも興味を持つことができました。また、ホストファミリーと英語でコミュニケーションを取ることが、とても楽しかったです。全国から集まった工業高校の生徒たちとも仲良くなることができ、充実した10日間でした。日本とは違う文化に触れることは、とても楽しいものでした。今回の研修のことを忘れずに、これから活かしていきたいと思いました。

海外研修での思い出

福岡県立福岡工業高等学校

機械工学科工業進学コース2年 生徒

1 ホームステイ

ホストファミリーに会うまでは、どんな人たちだろうか、言葉が伝わるだろうかなどとても不安でしたが、ホストファミリーがフレンドリーに接してくれたので、話しかけやすく、楽しい時間を過ごすことができました。

食べ物もとてもおいしくて、特に朝食のメープルシロップのかかったワッフルはやみつきになりました。

休みの日は、ブルーベリー狩りやフリーマーケットなどに連れていってくれました。



ブルーベリー狩り

2 カナダの学生と交流

カナダの学生と一緒にいったバンクーバー市内観光では、ダウンタウンやスタンレーパークやキャピラノ吊橋に行きました。どこも衝撃的な光景ばかりでした。

ダウンタウンはみたことのない街並みで建物がおしゃれでした。ごみもほとんど落ちていませんでした。



カナダの学生と交流

スタンレーパークは周りが海で自然に囲まれていて、そこから見えるダウンタウンが絶景でした。

キャピラノ吊橋は全長140メートルで高さが70メートルもあるバンクーバーで最も古い吊橋だそうで、大きく揺れて怖かったけど自然に囲まれていて空気がきれいでした。

最終日に行ったさよならパーティでお茶をた

ててみせました。飲んだあとの反応は微妙でしたが日本文化を知ってもらえたので良かったです。

3 アメリカ

イチローが在籍していたマリナーズのセーフコ・フィールドにいきました。イチローが試合の時に座っていたベンチや移籍の記者会見のときに座っていたところなどに座ることができて嬉しかったです。

マイクロソフト社では大きなタッチスクリーンを使ってみんなで遊んだりしました。沢山の最新機器があったので驚かされました。

アメリカで一番衝撃を受けたのはボーイング社工場です。ボーイング社は電子機器の持ち込みができなかったのも、写真が撮れませんでした。工場内では沢山の飛行機が製造されていました。今まで飛行機の製造はイメージがわからなかったのも実際に見学ができて本当に良かったです。



BCIT リッチモンド校

4 感想

本当に最初はカナダでやっていけるか不安でしたが、カナダで沢山の人の出会えたので本当に充実した海外研修になりました。

異国の文化で戸惑いはありましたが、日本との違いがからだで感じる事ができたので良かったです。

ホストファミリーやカナダの学生のジャキやレイナーそして全国の海外研修のメンバーとも知り合えて、Facebook や LINE など日本で帰ってきてからも連絡がとれているのでこのまま続けていけたらいいと思います。

いつかまた、みんなに会える日を待ち望んでい

ます。最後に「ちかっばすいとうばい！」

本当に貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

海外研修に参加して

福岡県立福岡工業高等学校

建築科2年 生徒

1 バンクーバーの市内観光バンクーバーは、カナダのダウンタウンといわれる都市で人がとても多く賑やかな町でした。建物の外観も日本とは違い、扉は装飾扉で私は更にバンクーバー



バンクーバーダウンタウンの建物群
(パブリックマートから望む)

の建物に興味を持ちました。外部材はレンガっぽいのが多くカントリーな感じが私は好きなのでカナダの建物はすごく好きです。

おしゃれな店が多く建ち並んでおり、おしゃれな店員さんもいて、更に世界一治安がいいというので素晴らしい町です。

2 バンクーバー、シアトルでの会社見学

今回の企業先に一貫して共通するものは『飛行機』でした。私は正直飛行機よりもその会社の構



航空博物館入口

造が気になって天井や補強材や窓ばかり見ていました。ボーイング社ではたくさんの飛行機があり実際に中に入り機内を見ることが可能でした。

マイクロソフト社では最新の携帯や機械が多くあり、さらに機械の進化も展示されていました。天井も工夫がしてあり照明も紫っぽい感じが素敵でした。



マイクロソフトビジターセンター室内

3 シアトル散策

アメリカ、シアトルにあるセーフコフィールドはとても広く、VIP ルームは素晴らしい内装でホテルの一室みたいでした。フィールドには自然芝を使用しており選手への配慮が行き届いた球場でした。

ショッピングセンターでお菓子売り場に寄りました。壁紙の色がお菓子の色とうまく混ざってかわいかったです。

4 ホストファミリー

ホストマザーはとても親切な方で英語がうまく伝わらないときは懸命に理解しようとしてくれました。だけど伝わらないのはやっぱり嫌なので頑張って話すうちに英語力が上がってきました。土日はパーティをしてホストファミリー以外の方々と英語を使って話すのでリスニング力が更に上がり社交性も身に付きホントにいい体験ができました。

今回の海外研修で私は英語力が身に付いたことが何よりの成果だと思います。この経験が無駄にせずカナダの大学に行こうと思います。

9. 結びに

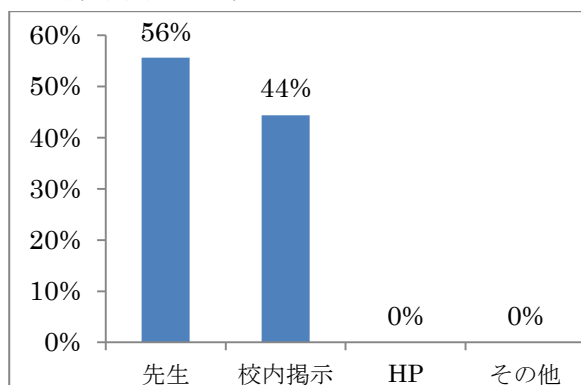
第 12 回研修は内容が充実し、大変好評であり満足のいくものであったと考えています。感想を読むと、研修内容もさることながら、全国の工業高校生が集まって交流もできて良かったと書いています。本事業はこの点からも有意義と思います。

今回の研修報告書は、本協会の HP に掲載する予定です。

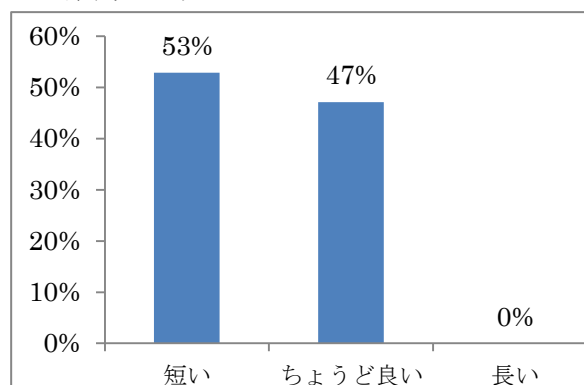
第 13 回海外研修に向けては、参加者のアンケートや感想をもとに、国際化推進委員会の先生を中心に企画することになります。今後の国際化推進事業の充実のため、引き続き皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

10. 第12回 高校生海外研修アンケート結果

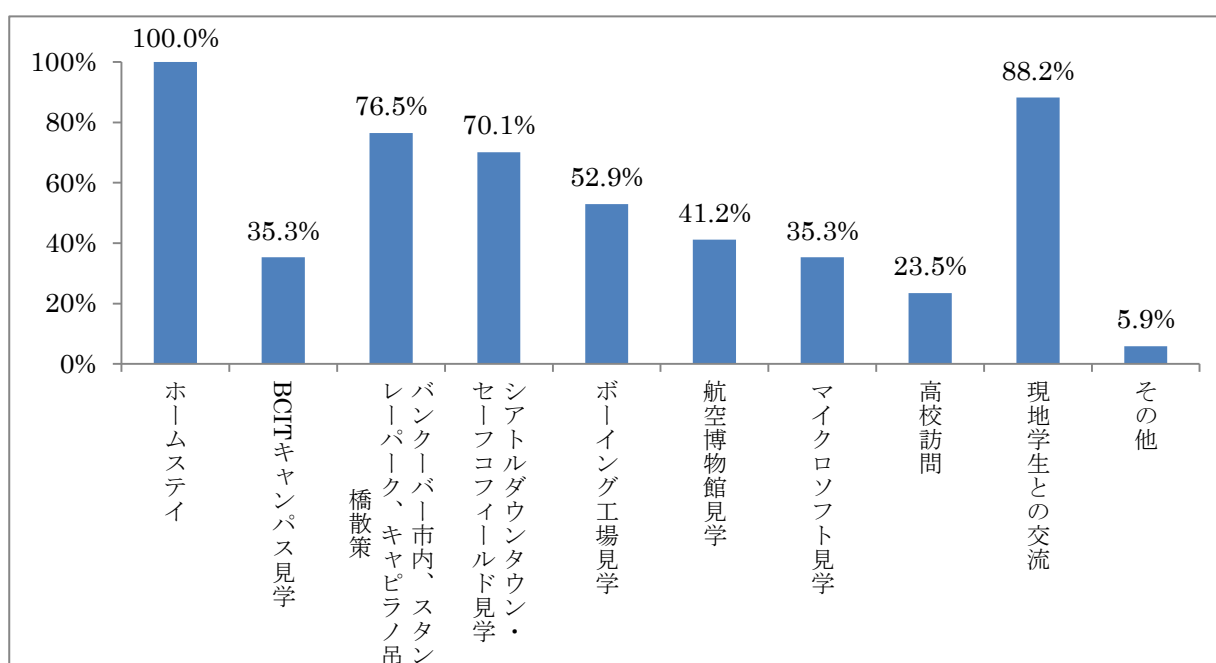
1 海外研修はどうして知りましたか



2 期間は怎么样了か



3 内容で良かったものは何ですか(複数回答可)



国際化事業推進委員会委員

- 委員長 渡邊裕治（千葉県立京葉工業高等学校長）
- 委員 加藤秀次（東京都立墨田工業高等学校長）
- 木南郁男（神奈川県立藤沢工科高等学校長）
- 田所和成（埼玉県立玉川工業高等学校長）
- 事務局 木暮守雄（全国工業高等学校長会事務局長）
- 瀧上文雄（全国工業高等学校長会事務局次長）
- 引率 渡邊裕治（千葉県立京葉工業高等学校長）
- 木暮守雄（全国工業高等学校長会事務局長）